



2023年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社串カツ田中ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 CEO 坂本 壽男
(コード番号：3547 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理部長 神山 賢司
(TEL. 03-5449-6410)

(訂正)「2022年11月期 決算補足説明資料」の一部訂正について

2023年1月13日に公表いたしました「2022年11月期 決算補足説明資料」について、訂正が必要となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由及び内容

連結財務諸表の作成において、固定資産の減損損失の計上に誤謬があったため、「2022年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を訂正することとなりました。これに伴い、「2022年11月期 決算補足説明資料」の訂正を行うものであります。

当該訂正による主な影響額は、2022年11月期の連結貸借対照表の有形固定資産の額が9百万円増加しております。また、連結損益計算書における減損損失の計上が9百万円減少し、親会社株主に帰属する当期純利益が7百万円増加しております。

2. 訂正の箇所

訂正箇所が複数にわたるため、訂正後の決算補足説明資料の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上



KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

株式会社串カツ田中ホールディングス
2022年11月期 決算説明資料

2023.1.13

証券コード：3547

決算資料 目次

1. コーポレートロゴ新設
2. 2022年11月期 トピックス
3. 2022年11月期 業績
4. 2023年11月期 計画
5. 参考資料



1. コーポレートロゴ新設

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

1. コーポレートロゴ新設

コーポレートロゴの制定について



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

■ コーポレートロゴ新設の背景

当社は「どんな時代においても必要とされる会社・組織・人材になる」を企業理念としています。

新しいコーポレートロゴは、多様性、発展、情熱といった要素を持つ五角形の中に、社名の〔串〕〔田〕を「笑顔」をイメージして表現しております。

創業20周年(2022年)を迎え、ホールディングス全体のさらなる発展を目指すにあたりそれらをもって変革、その先への成功を込めたデザインとしました。

2. 2022年11月期 トピックス

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

代表取締役の異動及び役員等の異動

2022年6月開催の取締役会において、当社代表取締役及び役員等の異動を決議

1. 異動の内容

新役職名	氏名	旧役職名
取締役会長	貫 啓二	代表取締役社長
代表取締役社長 CEO	坂本 壽男	取締役 経営戦略部及び人事総務部管掌
取締役副社長 COO	大須賀 伸博	取締役 IT戦略部長 兼 出店戦略部及び商品統括部管掌

2. 異動の理由

当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指し、経営体制の一層の充実と強化を図るため。



新代表挨拶

株主・投資家の皆様には変わらぬご高配を賜り深謝申し上げます。

株式会社串カツ田中ホールディングスは、これまで串カツ田中ブランドを柱として、事業を拡大してきました。

世の中が大きく変わり、企業にも環境に合わせて大きな変化が必要とされます。

昨今の変化の激しい状況下では、事業の内容だけでなく、全従業員の意識の変革も必要です。我々はどんな時代・環境においても、必要とされる会社・組織・人材になれるよう意識の変革、努力を続けてまいります。

串カツ田中ブランドで1,000店舗を達成し、串カツを日本を代表する食文化とするとともに、串カツ田中で培った笑顔やおもてなしを核とした第2、第3のブランド・新規事業を確立し、より強い会社を目指して行きます。

弊社の成長をお見守りいただきますとともにより一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



代表取締役社長 CEO

坂本 壽男



国内新業態の展開について |



こだわりの特製タレと

10種類の新鮮野菜で

包んで食べる“包む豚”のお店

サムギョブサルやカルビなど

本場韓国の焼肉を多数ご用意

こだわりの特製タレと新鮮野菜に包んで

お召し上がり頂く韓国焼肉のお店です！

出店背景

韓国トレンドは流行として捉えがちですが、当社としては、一定のマーケットが形成されてきていると捉えております。韓国料理というジャンルにおいて、純粹想起されるブランドはまだありません。この空白のマーケットを狙い当ブランドを開発致しました。串カツ田中のノウハウを活かし、住宅街から繁華街まで出店可能なブランドに仕上がっており、3年で50店舗の出店を目標に展開して行く予定です。



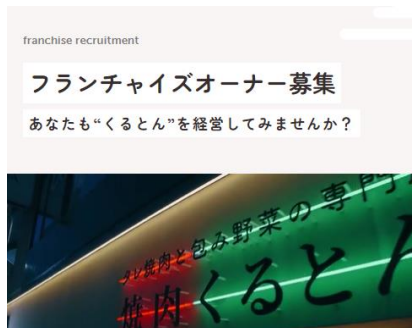
公式HP：<https://kuru-ton.com/>

国内新業態の展開について II

FC加盟店 募集開始

FC加盟店の募集をスタート
住宅街エリアの北浦和店、駅前繁華街の刈谷店、都心の代官山店3店舗共に売上は順調に推移。

ダクト工事不要なため、居酒屋等の業態変更であれば低投資で出店も可能。



加盟店募集ページ

<https://kuru-ton.com/fc/>

店舗一覧



2022年3月18日OPEN

くるとん 北浦和店

- 📍 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-20-8
JR北浦和駅より、徒歩約3分 北浦和駅から161m
- ☎ 048-834-5029



2022年7月22日OPEN

くるとん 刈谷店

- 📍 愛知県刈谷市桜町1-22
東海道本線・名古屋鉄道三河線 刈谷駅 北口 徒歩1分
- ☎ 0566-21-2229



2022年9月22日OPEN

くるとん 代官山店

- 📍 東京都渋谷区代官山町19-1
東急東横線 代官山駅 東口 徒歩1分
- ☎ 03-6277-5589



海外事業の展開について



TANAKA

■ 出店背景

アメリカ ポートランドにカフェ業態「TANAKA」をオープン。

串カツ田中ソースを継承したカツサンドを中心に、各種ペイストリーをカジュアルにカウンターサービスで提供しています。海外への出店は当社グループの今後の成長に欠かせないものと考えチェーン展開を行って参ります。



■ 店舗情報

所在地 678 SW 12th , Portland, Oregon 97205 USA

TANAKA公式HP : <https://tanakakatsusando.com/>



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

新規事業 飲食店向けアプリ開発



Restartz

合併会社 (リスタート)

インフォマート社と当社の合併会社 Restartz で店舗の生産性向上や人手不足解消、省人化を目的とした店舗運営支援アプリ「V-Manage」を開発。

串カツ田中 30店舗で実証実験を開始。

公式HP : <https://v-manage.infomart.co.jp/>



V-Manageによる課題解決

本部 (管理・企画)	エリアマネージャー・SV	店舗スタッフ
<p>店舗運営の簡素化 (ルーチン・チェック・指示)</p>	<p>担当店舗の日常業務 (日報・実施状況確認)</p>	<p>業務を明確に漏れなく (仕込・清掃・レジ録)</p>
<p>運営状況の正確な把握 (ブランド・エリア・FC)</p>	<p>改善点把握 (HACCP対応など)</p>	<p>チェックシート (ロス管理・HCCAP)</p>
<p>働き方の変化に対応 (外国人就労・臨時ワーカー)</p>	<p>業務指示・指導 (臨時業務や改善チェック)</p>	<p>臨時業務の対応 (コロナ貼紙・メニュー変更)</p>
<p>教育の簡素化 (マニュアル共有・作業手順への画像添付)</p>		
<p>円滑なコミュニケーション (チャット・掲示板)</p>		

自動発注システムの全店舗導入

AIを用いた自動発注サービス 「HANZO」を直営全店舗導入



発注時間の削減効果
 直営150店舗 × 1店舗年間100時間
 = **年間約15,000時間の削減効果**を想定

- 発注時間の削減
- 発注量の適正化による食材ロス削減
- 発注業務の属人化解消/アルバイトで可能に
- 日次で理論在庫の把握が可能に。棚卸し業務削減
- 配送回数を減らすことによりCO₂削減



新規事業 施工会社の設立



株式会社ジーティーデザイン

■ 設立背景

当社グループの出店に伴う内装工事を内製化

グループシナジーを創出し、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指します。また、他社工事案件も扱い自社案件にとどまらず活動を行っていく予定です。



※内外装工事イメージ



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

3. 2022年11月期 業績(連結)

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

2022年業績ハイライト

●売上高 **10,919**百万円

前年同期比

219%

●営業利益

△**169**百万円

営業利益率：1%

●経常利益

1,399百万円

経常利益率：12.8%

●当期純利益

743百万円

当期純利益率：6.8%

■売上高

新型コロナウイルス感染症の影響は緩やかになり、客数が回復した影響

■経常利益

雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金の入金額を、助成金収入として計上



2022年売上内訳

■ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛要請期間の相違による客数増、休業・時短営業の縮小による影響

●直営店売上

2021年
3,415百万円



2022年
8,296百万円

増減額：4,880百万円
前年比：242.9%

●FC商品売上

2021年
1,081百万円



2022年
1,865百万円

増減額：783百万円
前年比：172.5%

●ロイヤリティ

2021年
208百万円



2022年
397百万円

増減額：189百万円
前年比：190.7%



2022年業績サマリー

(単位：百万円)

	2021年	2022年	増減額	前年同期比
<u>売上高</u>	4,983	10,919	5,935	219.1%
売上総利益	2,998	6,999	4,000	233.4%
一般管理費	5,580	7,168	1,587	128.4%
<u>営業利益</u>	△2,582	△ 169	2,413	—%
<u>経常利益</u>	△504	1,399	1,903	—%
当期純利益	△577	<u>743</u>	<u>1,320</u>	—%



2022年業績予算比較

実績

予算

●売上高

10,919
差額：△880

11,800

予算比
92.5%

●営業利益

△**169**
差額：40

△**210**

予算比
—%

●経常利益

1,399
差額：99

1,300

予算比
107.6%

●当期純利益

743
差額：△6

750

予算比
99.1%

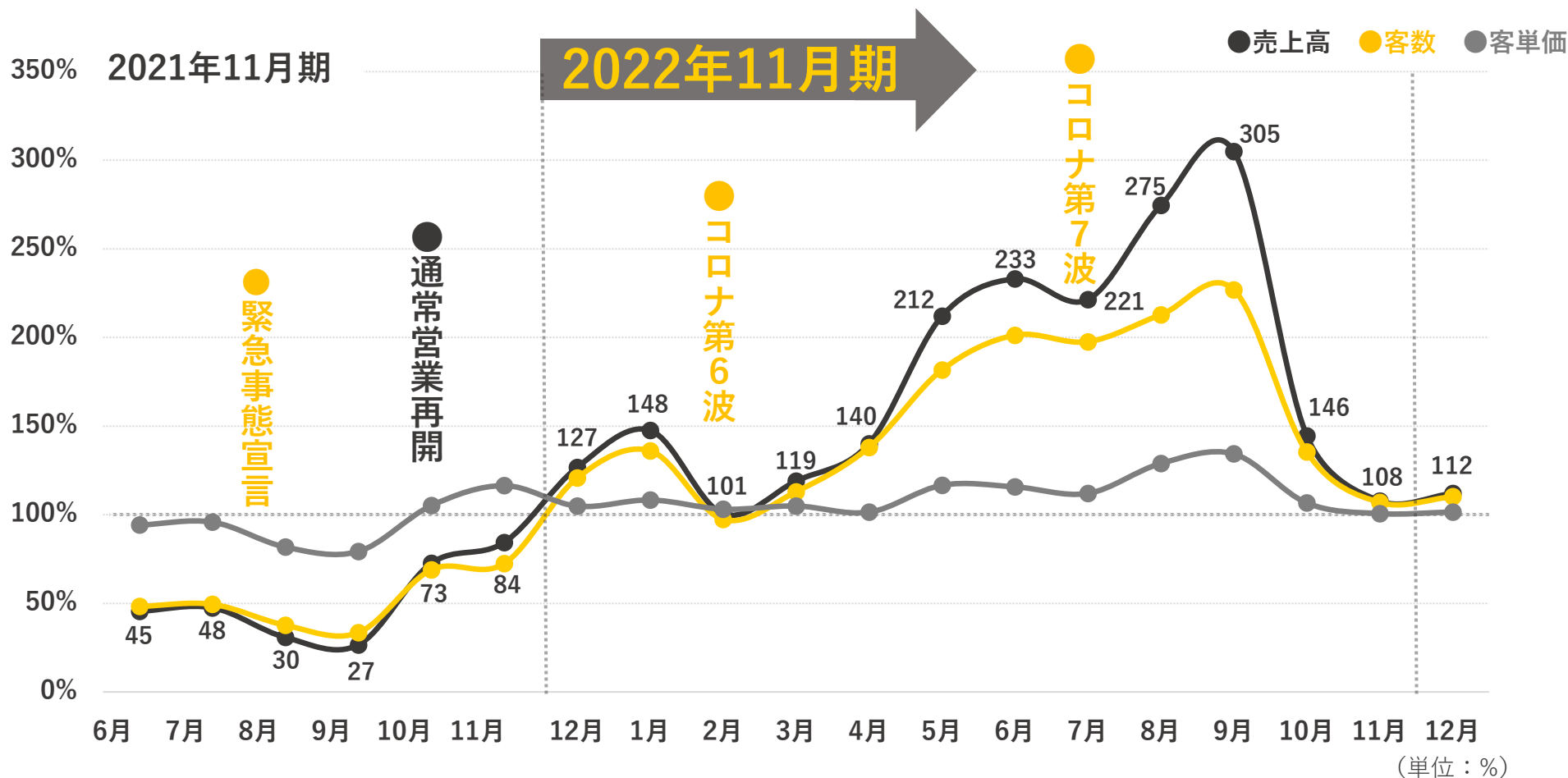
(単位：百万円)





串カツ田中 既存店売上高推移：前年比較

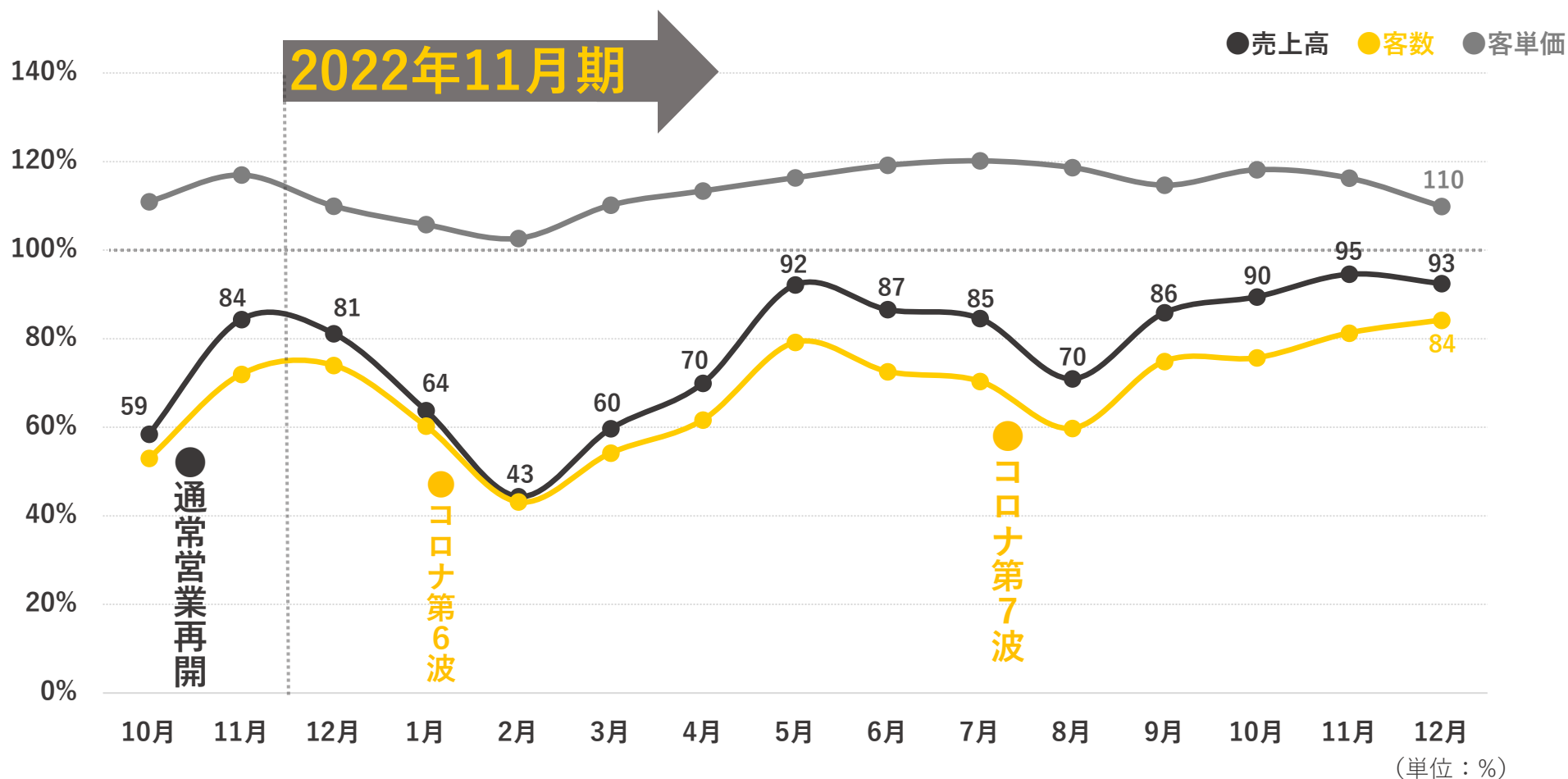
2022年11月以降、コロナウイルスの第7波並みの感染者数が観測されているが、売上が好調であった2021年12月水準まで回復



串カツ田中 既存店売上高推移：コロナ前2019年比較



感染拡大の影響は緩やかになり、売上・客数ともに回復傾向にある



全店舗合計推移

2022年11月末時点

ブランド別店舗数



310



1



3



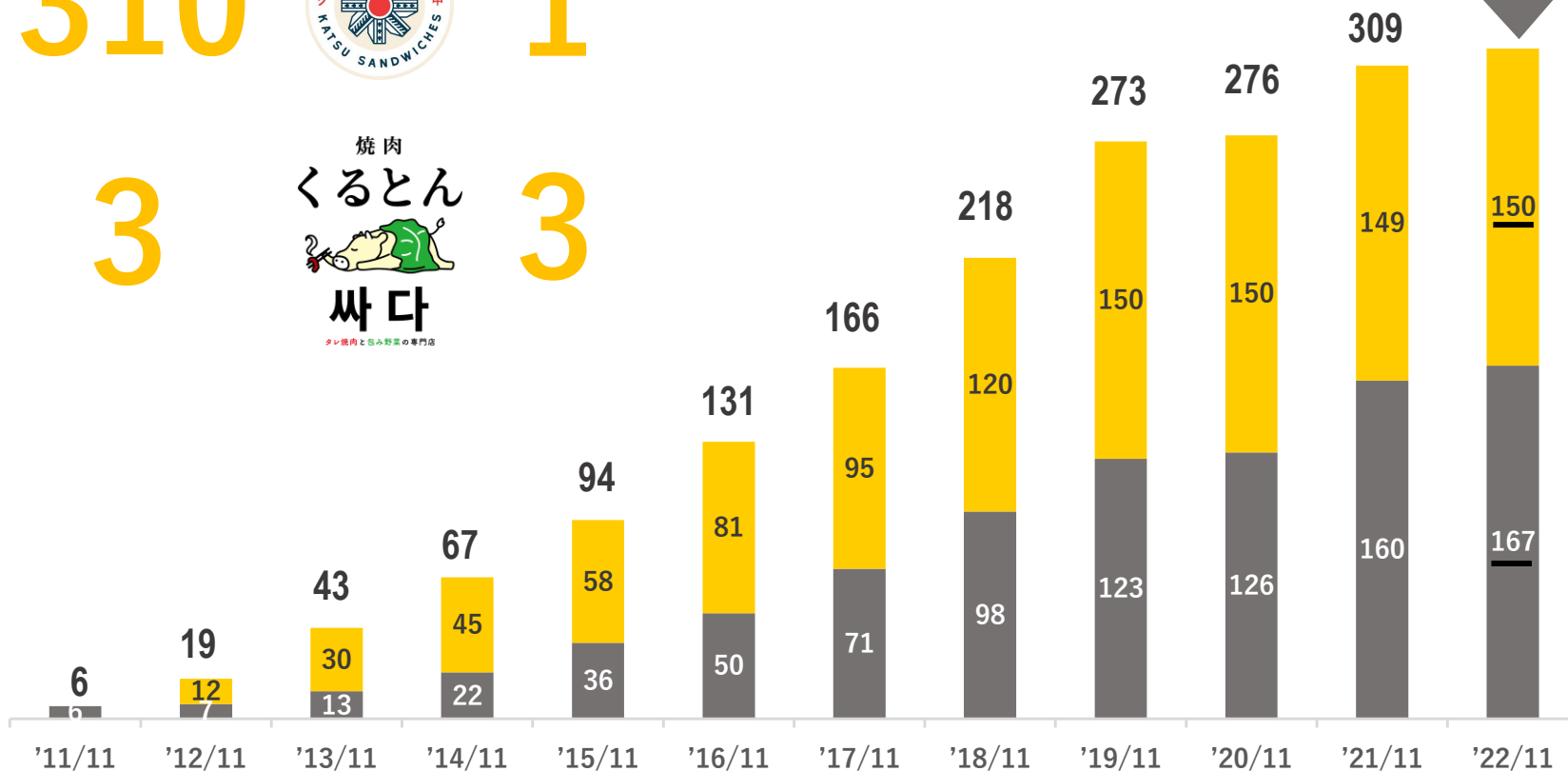
3



3

タレ焼肉と旨み野菜の専門店

317



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

●直営店 ●FC店

出退店及び業態変更の状況

新規出店等の状況 22店舗出店 退店14店舗

ブランド	期首	新店		退店		業態変更	合計
		直営	FC	直営	FC		
	305	8	11	3	10	△1	310店舗
 鳥と卵の専門店	3	1	—	1	—	—	3店舗
 焼肉 くるとん 峠	—	1	—	—	—	2	3店舗
	—	1	—	—	—	—	1店舗
その他	1	—	—	—	—	△1	—
合計	309	11	11	4	10	—	317店舗





串カツ田中での出店数の前期比較/予算比較

(単位：店舗)

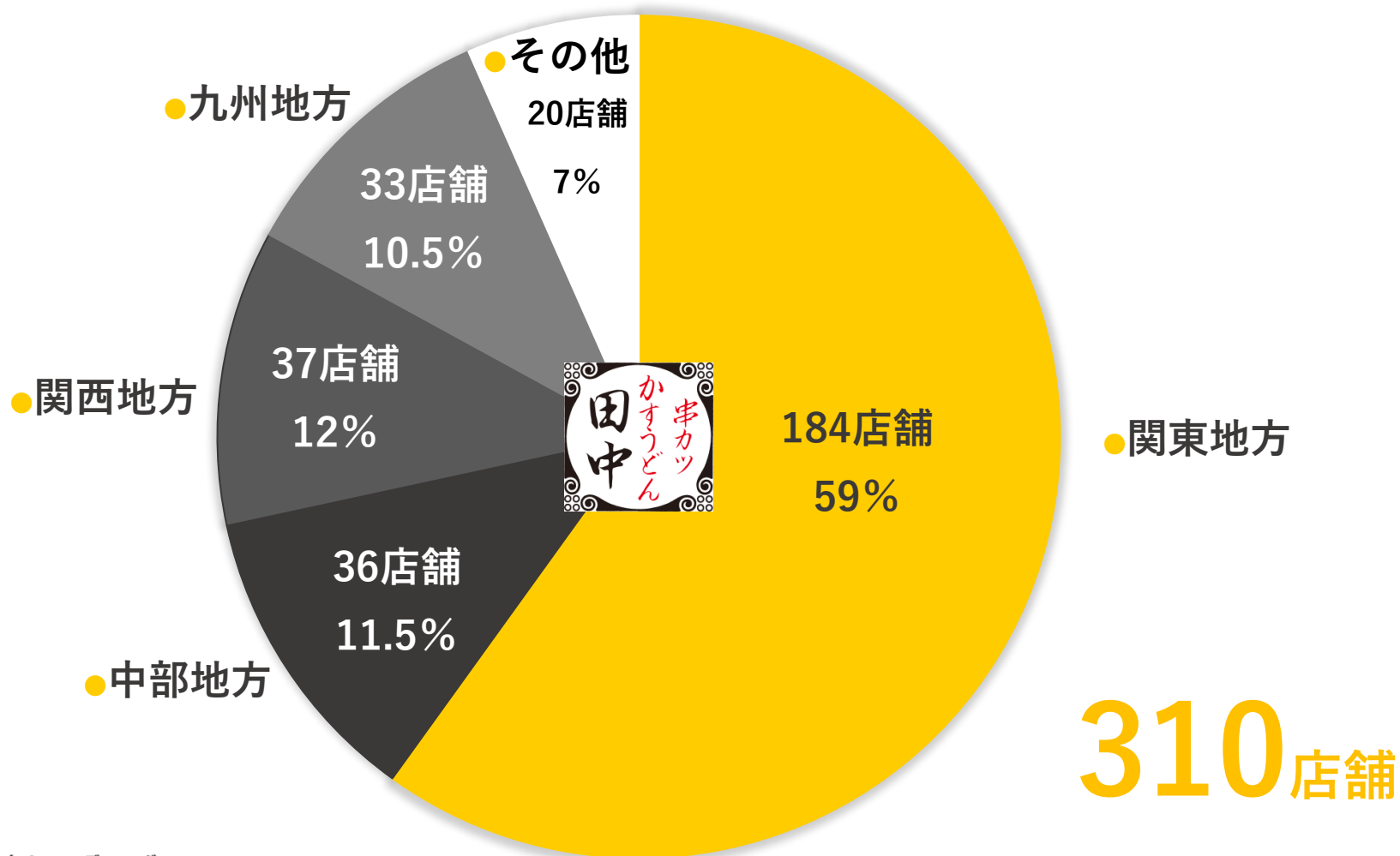
分類	2021年	2022年	前年比較	年間予算	達成率
直営店	31	8	△23	28	28.6%
FC店	5	11	+6	10	110.0%
合計	36	19	△17	38	50.0%

※業態変更は含めておりません。



串カツ田中 店舗分布

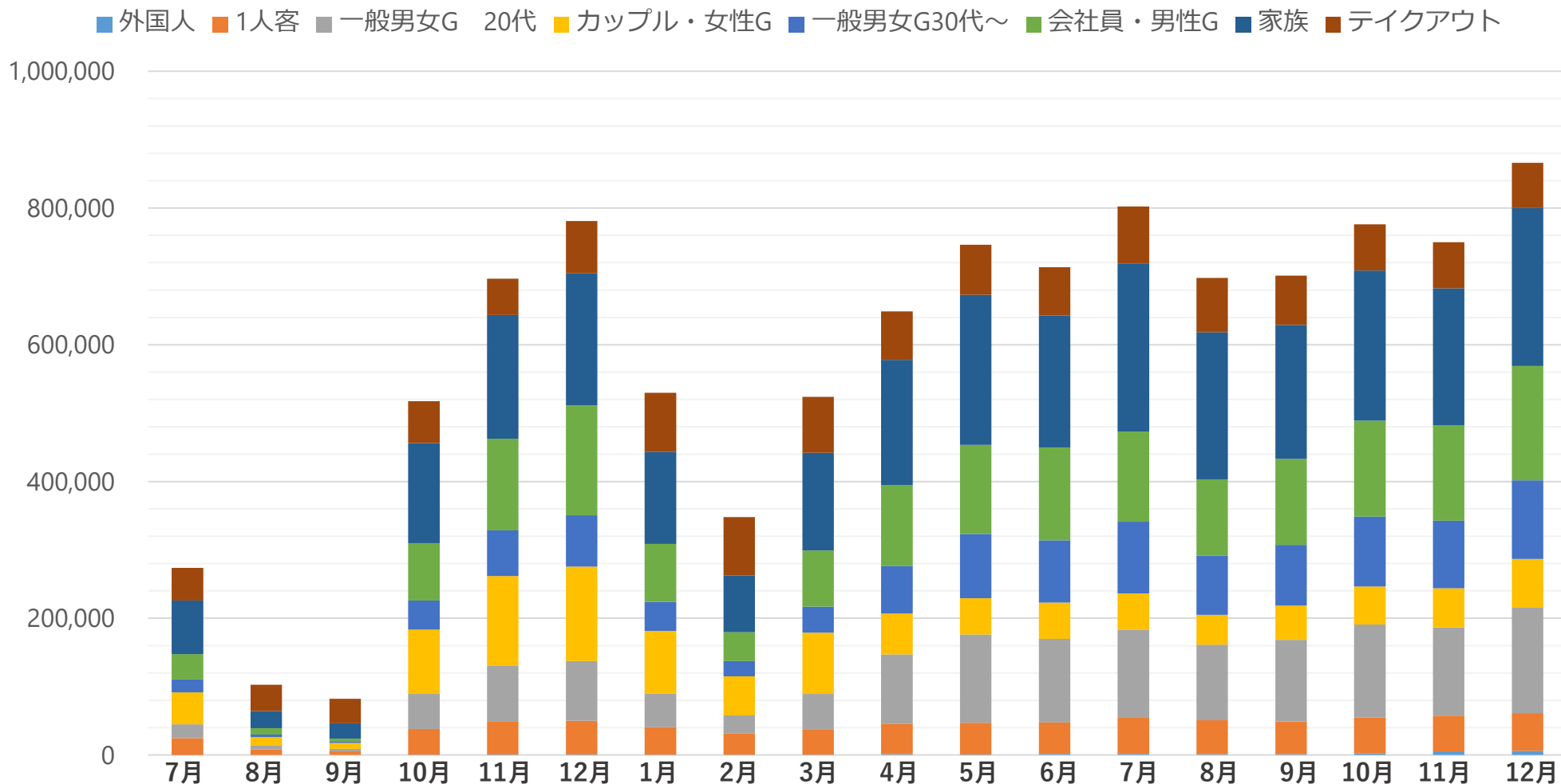
■ 41都道府県に出店。串カツ全国制覇まで残り6県



客層別売上高の推移



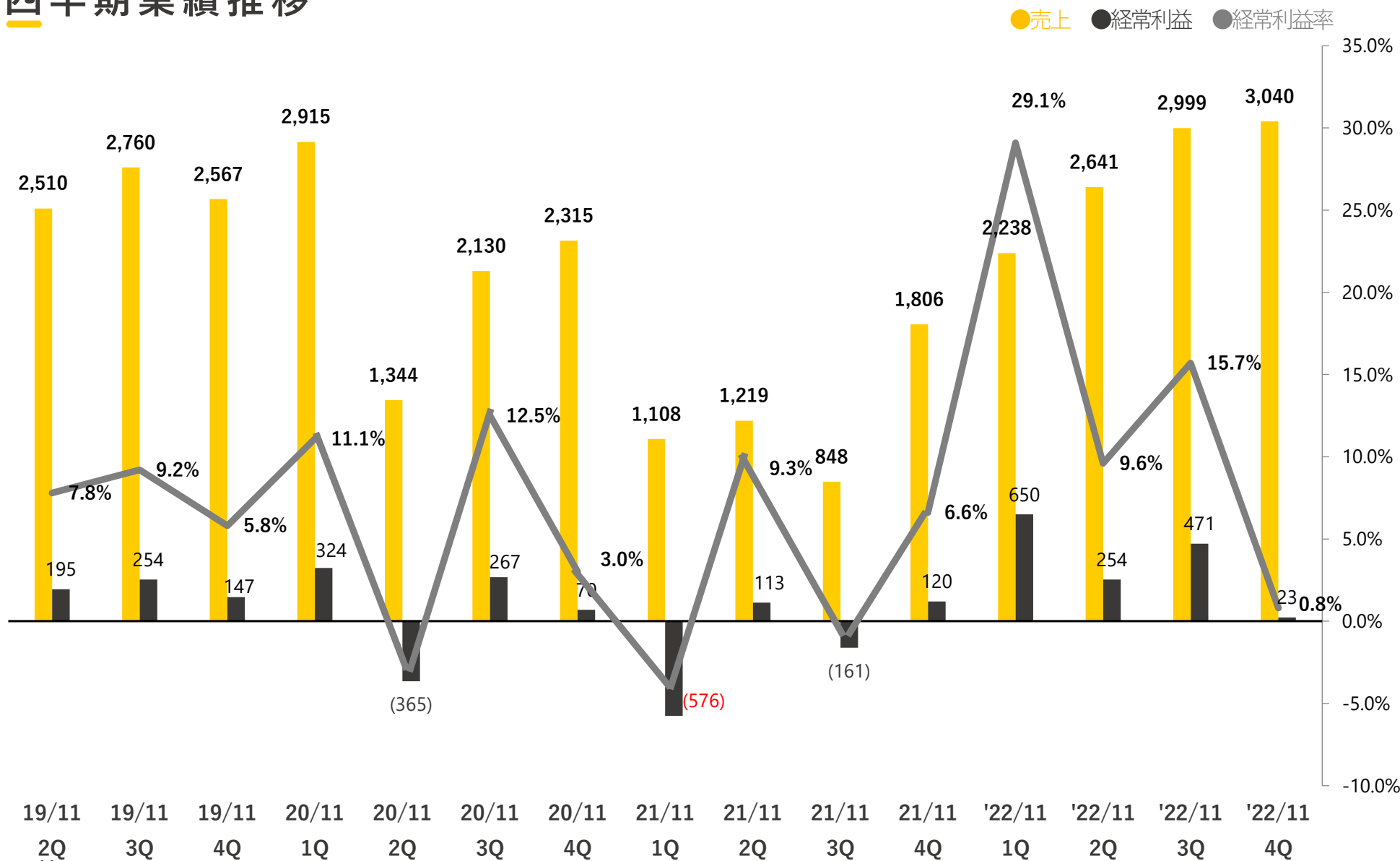
串カツ田中直営店データ



(単位：千円)

3. 2022年11月期 業績：連結

四半期業績推移



連結貸借対照表

項目	2021年	2022年	前期比較	主な増減内容
流動資産	3,211	4,173	+961	売上の回復、助成金の収入や新規の借入による増加
固定資産	3,512	<u>3,429</u>	△82	減価償却費及び減損損失の計上に伴う減少
資産合計	6,723	<u>7,603</u>	+879	
流動負債	3,400	3,913	+512	業績回復に伴う未払税金の計上
固定負債	2,145	1,750	△395	長期借入金の減少
負債合計	5,546	5,663	+117	
純資産合計	1,177	<u>1,939</u>	+762	当期純利益を計上したことによる影響
負債・純資産合計	6,723	<u>7,603</u>	+879	
自己資本比率	17.5%	<u>25.5%</u>	+8.0pt	当期純利益を計上したことによる影響
有利子負債依存度	54.3%	39.5%	△14.8pt	借入金の返済による影響



連結キャッシュ・フロー 主な内訳

項目	2021年	2022年	主な理由
営業キャッシュ・フロー	△222	2,600	
税引前当期純利益	△747	<u>1,218</u>	業績回復により大幅に増加
減価償却費	318	368	
投資キャッシュ・フロー	△1,096	△412	
有形固定資産の取得による支出	△835	△547	直営店の出店減少による影響
投資有価証券の売却による収入	—	400	
差入保証金の差入れによる支出	△149	△33	
財務キャッシュ・フロー	△1,023	△741	
長期借入による収入	700	1,050	長期借入金の返済による影響
長期借入金の返済による支出	△1,228	△1,539	
現金及び現金同等物の期末残高	1,742	3,188	



株主還元

利益配分の基本方針

将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを図りながら
安定的かつ継続的な配当を実施

配当予定

前期：1株当たり10円00銭 当期：1株当たり10円00銭を予定

株主優待(基準日：11月末)

株主の皆様の日頃からのご支援にお応えするとともに、当社店舗のご利用を通じて
より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことを目的とする

ご所有株式数	株主優待（電子チケットにて贈呈）
100株～299株	2,000円相当（1,000円券2枚）のお食事ご優待券
300株～599株	4,000円相当（1,000円券4枚）のお食事ご優待券
600株～899株	6,000円相当（1,000円券6枚）のお食事ご優待券
900株以上	8,000円相当（1,000円券8枚）のお食事ご優待券



4. 2023年11月期 計画

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

Corporate philosophy

どんな時代においても必要とされる“会社・組織・人材”になる



KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

■ 2023年重点取り組み

おもてなし



Good time and New value

串カツ田中で大切にしている「**笑顔**」
笑顔を大切にする**おもてなし**をグループ事業全体へ

串カツ田中は人と人とのつながり、
何気ない、かけがえのない時間を提供してきました
笑顔は何気ないひとときを
“**忘れられないひととき**”にする

我々はおもてなしをテーマに“**新しい体験価値**”の創造に挑戦します



多角化経営に向けた取り組み

2023

■ 中核事業である串カツ田中を中心としながら、スケールメリットや相乗効果が期待できる新規ブランド、海外展開、新規事業の取り組みをスタート致しました。

中核事業



新ブランド

海外事業



Restartz

G.T. DESIGN

新規事業



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

売上利益の拡大

1 串カツ田中の可能性

1. 既存店売上高向上
2. DX×人事戦略による収益改善
3. FCビジネスの強化
4. インバウンド領域

2 利益根源の開拓

1. 物流改善
2. EC等の内食マーケット
3. Vマネージ外販による収益
4. GTデザインの新たな収益

3 新田中と2本目の柱

1. 串カツ田中リモデル
2. 鳥玉
3. 焼肉くるとん
4. TANAKA International

4 新規事業/M&A

1. 既存事業とシナジーがあるM&A
2. 新規事業の開拓
3. 既存事業からの新モデル

事業領域の拡大





Vision

全国 1,000 店舗 体制構築を目指し、
『串カツ田中』の串カツを、日本を代表する食文化に

Corporate philosophy

串カツ田中の串カツで
一人でも多くの笑顔を生むことにより、社会貢献し
全従業員の物心両面の幸福を追求する。





More fun More fan

もっと楽しくもっとファンに

スタッフ

笑顔への先行投資
エンゲージメント向上
精神的・金銭的報酬向上

笑顔

おもてなし

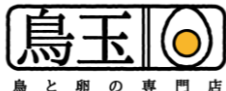

ロイヤリティプログラム
地域密着コミュニティ
CRM基盤の構築運用

お客様

スタッフの笑顔がお客様を笑顔にする
関わる全ての人が”もっと楽しく、もっとファン”になりたくなる店作り



■ 出店戦略を強化し積極的な店舗展開を予定

ブランド	期首	新店		退店 予定	合計
		直営	FC		
	310	20	30	11	349店舗
 鳥と卵の専門店	3	—	—	—	3店舗
 焼肉 くるとん 싸다	3	5	10	—	18店舗
	1	1	—	—	2店舗
合計	317	26	40	11	372店舗

新たな成長軌道へ -過去最高売上を目指す-

●売上高 14,400百万円

伸長率目標
132%

●営業利益
780百万円
営業利益率：5.4%

●経常利益
850百万円
経常利益率：5.9%

●当期純利益
420百万円
当期純利益率：2.9%

項目	2022年 実績	2023年 予算	前期比較	トピックス
売上高	10,919	14,400	+31.9%	店舗数増・既存店回復
売上総利益	6,999	9,300	+32.9%	物価上昇・物流改革
販売費/一般管理費	7,168	8,520	+18.9%	光熱費・資材包材高騰 クレジット導入
営業利益	△169	780	-%	
営業利益率	—%	5.4%	-	
経常利益	1,399	850	△39.2%	助成金がなくなる影響
経常利益率	12.8%	5.9%	-	
当期純利益	<u>743</u>	420	△42.9%	
当期純利益率	<u>6.8%</u>	2.9%	-	

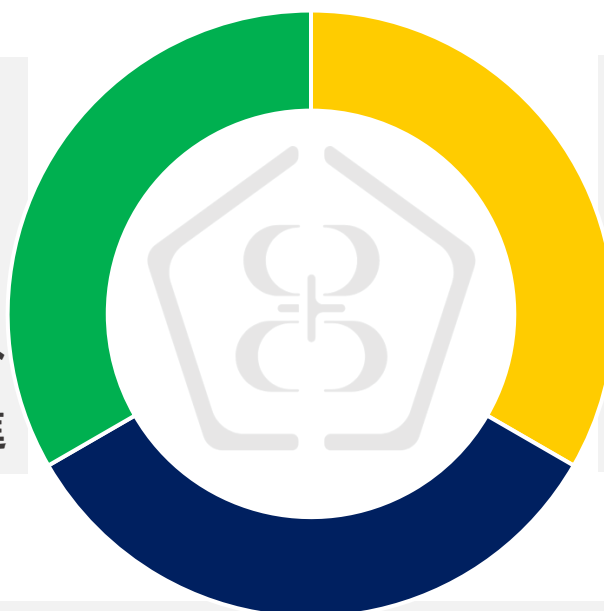


サステナビリティ

- 当社は「おもてなし」「働きがい改革」「DX」の推進により、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

ENVIRONMENT 環境

CO₂排出量・食品ロス削減
アニマルウェルフェアの取組み
サーキュラーエコノミーの推進



GOVERNANCE 企業統治

リスクマネジメントの強化
情報セキュリティ強化
コンプライアンスの徹底

SOCIAL：社会

従業員健康増進・働きがい改革
顧客満足推進
地域社会への貢献

ココロのバリアフリー活動



免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社串カツ田中ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解していただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2022年11月末日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行なう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により、情報に誤りが生じる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社串カツ田中ホールディングス 経営企画室IR担当

TEL：03-5449-6410

URL：<http://kushi-tanaka.co.jp>



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

5. 参考資料

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

5. 参考資料

会社概要

社名	株式会社 串カツ田中ホールディングス
設立	2002（平成14）年 3月 20日
代表者	代表取締役社長 CEO 坂本 壽男
本社	東京都品川区東五反田一丁目7番6号
資本金	305百万円（2022年11月末現在）
業績	<ul style="list-style-type: none">・売上高：109億19百万円・経常利益：13億99百万円（ともに、2022年11月期）
事業内容	「串カツ田中」「鳥玉」「焼肉くるとん」ブランドで関東圏を中心に全国規模で飲食事業を展開



5. 参考資料

沿革

	設立・会社TOPIX	店舗・出店TOPIX
1998年11月	個人事業として創業	「KG Bar」 オープン
2001年12月		デザイナーズレストラン「ターンザテーブル」 オープン
2002年3月	大阪市西区に当社設立	
2004年3月		東京都港区に「京料理みな瀬」を開店
2008年12月	レシピが見つかる	串カツ田中1号店「串カツ田中世田谷店」(東京都世田谷区) オープン
2011年12月		串カツ田中方南町店をフランチャイズ化し、フランチャイズ展開を開始
2012年5月		初の大型ターミナル駅出店「串カツ田中渋谷桜ヶ丘店」 オープン
2013年11月	東京都渋谷区に本店移転	
2014年2月	「外食アワード2013」受賞	
2014年4月		50店舗出店達成 (FC店含む)
2014年7月		串カツ田中関西圏1号店「串カツ田中岸和田店」 オープン
2014年9月		串カツ田中東海地区1号店「串カツ田中金山店」 オープン
2015年5月	東京都品川区に本店移転	
2015年8月	商号を「株式会社串カツ田中」に変更	
2015年12月		100店舗出店達成 (FC店含む)
2016年4月		初の商業施設「串カツ田中KITTE博多店」 オープン
2016年9月	東京証券取引所マザーズ市場上場	
2017年5月		150店舗出店達成 (FC店含む)
2018年6月	ホールディングス化、ほぼ全店禁煙化	
2018年7月		200店舗出店達成 (FC店含む)
2019年3月		初のF R型ロードサイド業態出店「串カツ田中前橋三俣店」 オープン



5. 参考資料

沿革

	設立・会社TOPIX	店舗・出店TOPIX
2019年6月	東京証券取引所市場第一部へ 指定替え	
2019年8月		250店舗出店達成（FC店含む）
2020年2月		「鳥玉」ブランドの譲受
2020年3月	100%子会社 (株)セカンドアロー設立	
2020年9月		鳥玉1号店「鳥玉モザイクモール港北店」オープン
2021年4月	冷凍串カツのオンラインショップ開設	
2021年10月	(株)インフォーマットと業務提携及び 合併会社「(株)Restartz」の設立	
2022年1月		300店舗出店達成（FC店含む）
2022年3月		焼肉くるとん1号店「北浦和店」オープン
2022年6月		TANAKA1号店をアメリカオレゴン州ポートランドにオープン
2022年9月		焼肉くるとん フランチャイズ展開を開始
2022年10月	(株)ジーティーデザイン設立	





**KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS**